

ヒマラヤの自然信仰と祭り

- ブータンとインド北東部(アルナーチャル・プラデーシュ州)から -

小林尚礼

カワカブ(梅里雪山)を超える聖地はないだろうかという思いから、ヒマラヤ各地の聖地を訪ねています。今回は、ブータン東部のタシガン県と、インド北東部アルナーチャル・プラデーシュ州のディラン・タウン周辺の聖地について報告します。

この2つの地域は国境に隔てられてはいますが、遊牧民プロクパや農耕民モンパといった民族が、国境の両側でよく似た文化をもって暮らしています。特に彼らは、女神アマ・ジョモに導かれて、寒冷なチベットから緑豊かなヒマラヤ南麓にやって来たという伝説を共有しています。

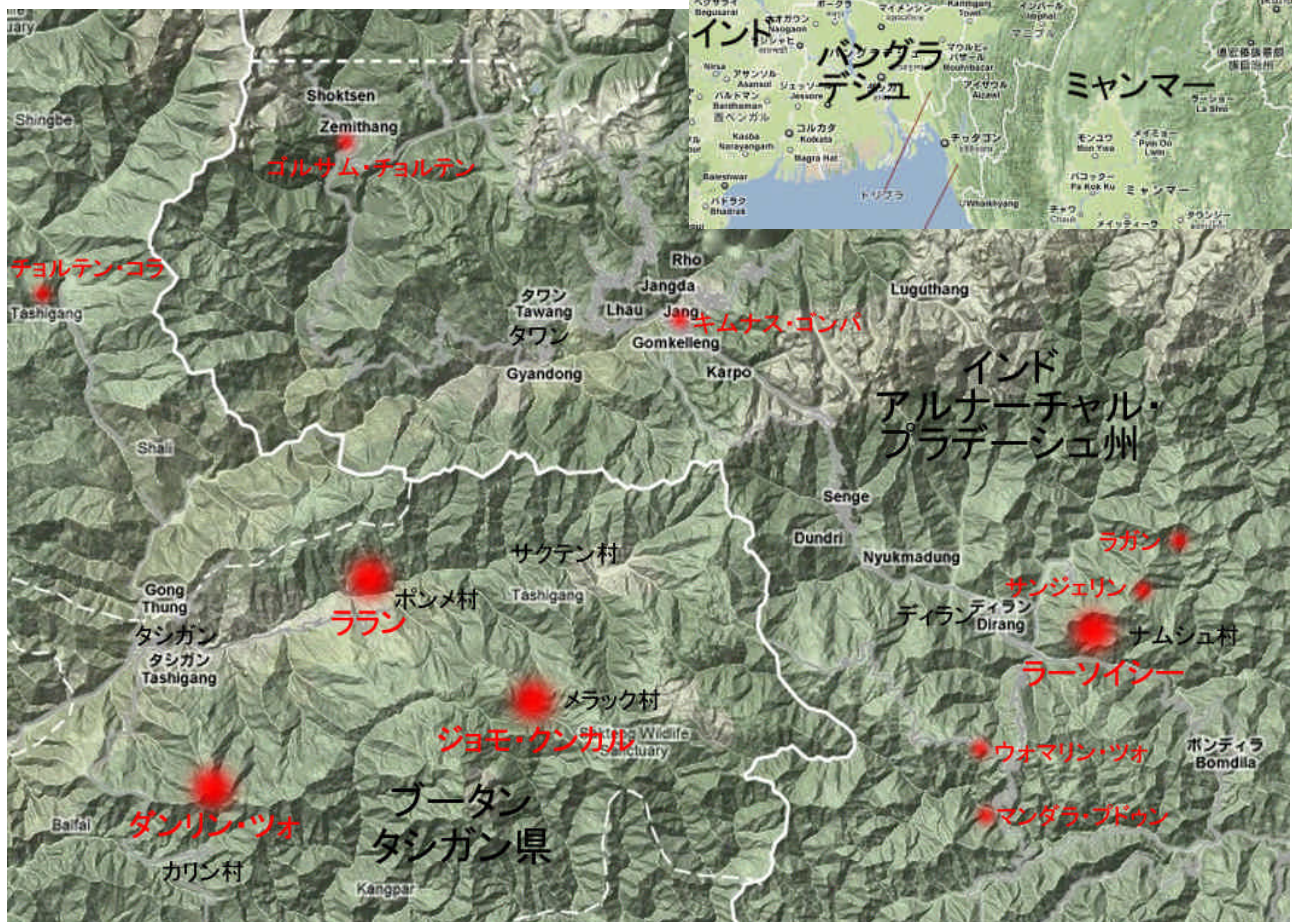
女神アマ・ジョモに導かれたチベット人は、ヒマラヤの南にある理想郷を目ざしてチベット南部のツォナを出発しました。アルナーチャルのタウンへ出て、ディラン周辺をまわった後、ブータン東部のサクテンに入りました。そしてついにメラックに見出理想の地を見出して人々は定住し、そこを見下ろすジョモ・クンカル山にアマ・ジョモは宮殿を建てて住むようになったといひます。

女神と一行が通過した地には、アマ・ジョモやその家族の名がついた山や湖があり、そこへ祈る祭りが今も1年～数年に一度行われています。何気ない木や石にも女神にちなんだ言い伝えがあり、大切に守られています。女神アマ・ジョモにまつわる自然信仰と祭りについて紹介します。

ブータンとアルナーチャルの位置



各聖地の位置



ブータンの聖地



撮影: 小林尚礼

ダンリン・ツォ (カリン村上部): アマ・ジヨモの弟ダンリンが造った聖湖



メラック村とジヨモ・クンカル



ララン (ボンメ村)



ラルジャプ (モンガル郊外)



タクツァン (パロ)

インド北東部アルナーチャル・プラデーシュ州ナムシュ村の祭り ラーソイシー



撮影:小林尚礼

母山アマ・ジヨモと父山ナムロックを3年に一度祝う ラーソイシー(神を祝う)、1日目昼



神官ブラミーが各家を回ってお清めする、1日目朝



村へ降りてきた神々を案内して各家を回る、2日目



神を山へ送り返す儀式、3日目
神様へのお礼は、地元産の川魚と唐辛子など、2日目

